

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	エアライン・鉄道・ホテル・テーマパーク専門学校東京
設置者名	学校法人ホスピタリティ学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	旅行科	夜・通信	1,248	80×2=160時間	
	ホテル科	夜・通信	930	80×2=160時間	
	テーマパーク科	夜・通信	990	80×2=160時間	
	総合英語科	夜・通信	0	80×2=160時間	※
	エアライン科 キャビンアテンダントコース	夜・通信	630	80×2=160時間	
	エアライン科 グラウンドスタッフコース	夜・通信	570	80×2=160時間	
	エアライン科 エアポートオペレーションコース	夜・通信	810	80×2=160時間	
	鉄道科	夜・通信	750	80×2=160時間	
	クルーズ科	夜・通信	570	80×2=160時間	
(備考) 旅行科・総合英語科は2025年度生より募集停止のため、2年生のみ在籍。 クルーズ科は2025年度より新設され、1年生のみ在籍。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPの情報公開にて公表資料として公開。
 (掲載：<https://trajal.jp/>)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由) 「総合英語科」は、英語コミュニケーションの基礎力を養成し、グローバルな社会で活躍できる学生を育成する学科である。こうした学科特性から、実務教員の配置は困難であるが、英語を母国語とし講師経験豊富なネイティブ講師や海外就業経験のある国際教養豊かな講師陣により、学科に沿った専門的な教育を実施している。

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	エアライン・鉄道・ホテル・テーマパーク専門学校東京
設置者名	学校法人ホスピタリティ学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPの情報公開にて公表資料として公開。
(掲載：<https://trajal.jp/>)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員 (2022年4月1日～)	2025年5月 30日～ 2027年5月 31日	組織運営体制へ チェック機能
非常勤	株式会社役員 (2015年6月1日～)	2025年5月 30日～ 2027年5月 31日	組織運営体制へ チェック機能
非常勤	株式会社社員 (2012年6月1日～)	2025年5月 30日～ 2027年5月 31日	組織運営体制へ チェック機能
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	エアライン・鉄道・ホテル・テーマパーク専門学校東京
設置者名	学校法人ホスピタリティ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 〈作成について〉 カリキュラム・授業計画(シラバス)の作成および評価までの流れについて (1) 該当業界のトレンド、ニーズを把握した上で教育コンセプトを構築し、カリキュラムを編成する。 (2) 「学ぶ目的」と「具体的な到達目標」を設定し、「評価観」の共通認識を行う。 (3) 到達目標を設定し、評価方法を決定する。 (4) 到達目標と評価方法をリンクさせ、授業計画書(シラバス)を作成する。 (5) 試験を作成し、実施する。 (6) 学期終了後、試験結果と評価基準を照合し評価を出す。 〈時期について〉 授業計画書の公表は、前期 3 月、後期 9 月の予定。	
授業計画書の公表方法	HP の情報公開にて公表資料として公開。 (掲載： https://trajal.jp/)
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) (1) 授業計画書(シラバス)に評価方法を記載している。 (2) 評価方法は実技試験、筆記試験、その他(課題等)により行う。 (3) 評価はA、B、C、R、D、Pの6種類。評価基準は基本、80点以上でA評価、70点以上でB評価、60点以上でC評価となり、認定として単位を与える。59点以下または予め設定された目標レベルを下回る場合や試験を受験しなかった場合はD評価となり、不認定として単位を与えない。 またR評価とは、企業実習や内定実習で試験を受けることができない場合の包括評価基準である。P評価とは、再学習により認定と認められた場合の評価基準である。 評価対象の課題提出などにより、包括的に評価する。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) <成績の客観的指数について> (1) GPAにより客観的な指標を設定しており、算出方法は(2)の通りである。 (2) 5種類の評価のポイントは、A=3、B=2、C=1、D=0、R=2、P=1とし、合算したものがGP合計値となる。そのGP合計値を履修した科目数で割ったものがGPA値となる。 ※GPAは学期ごとに算出し、全体の成績評価を行う。 ※R評価については、企業実習や内定実習は2ポイントとして換算する。 ※P評価については、再学習により認定された場合の評価基準で1ポイントとして換算する。 <成績評価の使用について> 算出した成績評価は前期10月・後期3月に、各学生本人に通知する。 GPA算出後は、成績下位者に対し再学習を実施する。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	HPの情報公開にて公表資料として公開。 (掲載： https://trajal.jp/)
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定について

以下の①～③すべての基準を満たし、2年次末の卒業判定会議で卒業の承認が必要。

- ① 出席した授業時間数が2年次の総授業時間数の80%以上
- ② 修得した単位数が2年次の総単位数の80%以上
- ③ 所定の学費を指定期日までに完納していること

卒業の認定に関する
方針の公表方法

HPの情報公開にて公表資料として公開。
(掲載：<https://trajal.jp/>)

様式第 2 号の 4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 4－①を用いること。

学校名	エアライン・鉄道・ホテル・テーマパーク専門学校東京
設置者名	学校法人ホスピタリティ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HP の情報公開にて公表資料として公開。 (掲載 : https://trajal.jp/)
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務 専門課程		旅行科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
				1,442 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	120 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	112 単位時間 /単位	
2 年	昼	1,384 単位時間 / 単位		1,674 単位時間 / 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
40 人		11 人	3 人	2 人		0 人		2 人	

※2025 年度生～募集停止のため 2 年生のみ

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式 2 号の 3【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式 2 号の 3【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式 2 号の 3【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等

(概要) 一人の学生に対し、クラス担任、就職担当スタッフ、バディティーチャーの3人がサポートするトリプル支援システムを導入し、多面的なサポートを行っている。定期的な個人面談、国家資格キャリアコンサルタントを保有する教員による進路指導、また独自の留学プログラムを設定するなど、幅広い観点から学生を指導し、学習・就職を支援している。
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	0人 (0%)	9人 (90%)	1人 (10%)
(主な就職、業界等) (株)小田急トラベル、(株)阪急交通社、(株)読売旅行、(株)阪急トラベルサポート、(株)新宿東急ホテルズ、(株)タワーJP			
(就職指導内容) 就職対策授業、エントリーシート添削、校内企業説明会の実施、面接練習、企業実習			
(主な学修成果（資格・検定等）) 普通救命講習、みんなの外国語検定、国内旅程管理主任者			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	1人	5%
(中途退学の主な理由) 成績不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による個人面談を年2～3回実施。また、2週間ごとに全学生の出席率の状況を社内に開示し、出席率の悪い学生を担当会議で共有するとともに、担任・バディティーチャー・就職担当の三位一体のサポートを徹底し、原因や不安事項の情報を面談により速やかにキャッチしフォローに努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	ホテル科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1, 392 単位時間 / 単位	900 単位時間 / 単位	390 単位時間 / 単位	240 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	150 単位時間 / 単位
			1, 680 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100 人		99 人	17 人	2 人	0 人	2 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式２号の３【（３）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式２号の３【（３）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式２号の３【（３）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４.を参照
学修支援等
（概要） 一人の学生に対し、クラス担任、就職担当スタッフ、バディーティーチャーの３人がサポートするトリプル支援システムを導入し、多面的なサポートを行っている。定期的な個人面談、国家資格キャリアコンサルタントを保有する教員による進路指導、また独自の留学プログラムを設定するなど、幅広い観点から学生を指導し、学習・就職を支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
35 人 (100%)	2 人 (6%)	32 人 (91%)	1 人 (3%)
（主な就職、業界等） 帝国ホテル、ミリアルリゾートホテルズ、(株)ニュー・オータニ、ヒルトン東京、コンラッド東京、ハレクラニ沖縄、ホテルオークラ東京等			
（就職指導内容） 就職対策授業、エントリーシート添削、校内企業説明会の実施、面接練習、企業実習			
（主な学修成果（資格・検定等）） TOEIC、ホテルビジネス実務検定 B2 級、マナー・プロトコール検定 3 級、全国手話検定 4 級、みんなの外国語検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
90 人	3 人	3%
（中途退学の主な理由） 進路変更、成績不振、体調不良		

(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による個人面談を年 2～3 回実施。また、2 週間ごとに全学生の出席率の状況を社内に開示し、出席率の悪い学生を担当会議で共有するとともに、担任・バディティーチャー・就職担当の三位一体のサポートを徹底し、原因や不安事項の情報を面談により速やかにキャッチしフォローに努めている。

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務 専門課程		テーマパーク科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	1, 392 単位時間 単位		870 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	240 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	570 単位時間 /単位	
				1, 680 単位時間 / 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数
120 人		101 人	0 人		4 人		5 人		9 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 様式 2 号の 3 【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式 2 号の 3 【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式 2 号の 3 【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
(概要) 一人の学生に対し、クラス担任、就職担当スタッフ、バディティーチャーの 3 人がサポートするトリプル支援システムを導入し、多面的なサポートを行っている。定期的な個人面談、国家資格キャリアコンサルタントを保有する教員による進路指導、また独自の留学プログラムを設定するなど、幅広い観点から学生を指導し、学習・就職を支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
46 人 (100%)	1 人 (2%)	38 人 (83%)	7 人 (15%)

(主な就職、業界等)
キッザニア東京、モビリティランド鈴鹿サーキット、(株)オリエンタルランド、タワー・ジャパン、ベネリック(株)、エイジェック、ユー・エス・ジェイ等
(就職指導内容)
就職対策授業、エントリーシート添削、校内企業説明会の実施、面接練習、企業実習
(主な学修成果(資格・検定等))
サービス接遇検定、みんなの外国語検定、全国手話検定、メンタルヘルスマネジメント検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
93 人	3 人	3%
(中途退学の主な理由)		
進路変更、経済事情、成績不振		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
クラス担任による個人面談を年 2～3 回実施。また、2 週間ごとに全学生の出席率の状況を社内に開示し、出席率の悪い学生を担当会議で共有するとともに、担任・バイティーチャー・就職担当の三位一体のサポートを徹底し、原因や不安事項の情報を面談により速やかにキャッチしフォローに努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	総合英語科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1, 396 単位時間 / 単位	1, 598 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	90 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位
			1, 688 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人		24 人	0 人	4 人	7 人	11 人	

※2025 年度生～募集停止のため 2 年生のみ

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)
様式 2 号の 3 【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要)
様式 2 号の 3 【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照

卒業・進級の認定基準
(概要) 様式 2 号の 3 【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
(概要) 一人の学生に対し、クラス担任、就職担当スタッフ、パディーティーチャーの 3 人がサポートするトリプル支援システムを導入し、多面的なサポートを行っている。定期的な個人面談、国家資格キャリアコンサルタントを保有する教員による進路指導、また独自の留学プログラムを設定するなど、幅広い観点から学生を指導し、学習・就職を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9 人 (100%)	人 (%)	9 人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) ウェスティンホテル、MSC CRUISE、(株)ウィンテック、iCure テクノロジー(株)等			
(就職指導内容) 就職対策授業、エントリーシート添削、校内企業説明会の実施、面接練習、企業実習			
(主な学修成果（資格・検定等）) TOEIC L&R、TOEIC S&W、みんなの外国語検定、English Faculty Official Test			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35 人	3 人	9%
(中途退学の主な理由) 体調不良、経済事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による個人面談を年 2～3 回実施。また、2 週間ごとに全学生の出席率の状況を社内に開示し、出席率の悪い学生を担当会議で共有するとともに、担任・パディーティーチャー・就職担当の三位一体のサポートを徹底し、原因や不安事項の情報を面談により速やかにキャッチしフォローに努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	エアライン科 キャビンアテンダントコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1, 392 単位時間 / 単位	1, 410 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	60 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	210 単位時間 / 単位
			1, 680 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
エアライン科の総定員 160 人		67 人	15 人	5 人	0 人	5 人	

※教員数は、エアライン科（キャビンアテンダントコース、グラウンドスタッフコース、エアポートオペレーションコース）の合計数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式 2 号の 3 【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式 2 号の 3 【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式 2 号の 3 【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 一人の学生に対し、クラス担任、就職担当スタッフ、バディーターチャーの 3 人がサポートするトリプル支援システムを導入し、多面的なサポートを行っている。定期的な個人面談、国家資格キャリアコンサルタントを保有する教員による進路指導、また独自の留学プログラムを設定するなど、幅広い観点から学生を指導し、学習・就職を支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27 人 (100%)	0 人 (0%)	26 人 (96%)	1 人 (4%)
（主な就職、業界等） スカイマーク(株)、日本航空(株)、スプリング・ジャパン(株)、ANA エアポートサービス(株)、(株)JAL スカイ、(株)K スカイ等			

(就職指導内容) 就職対策授業、エントリーシート添削、校内企業説明会の実施、面接練習、企業実習
(主な学修成果(資格・検定等)) TOEIC L&R、みんなの外国語検定、手話技能検定4級、ハングル能力検定、中国語検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60 人	5 人	8%
(中途退学の主な理由) 進路変更、精神的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による個人面談を年2～3回実施。また、2週間ごとに全学生の出席率の状況を社内に開示し、出席率の悪い学生を担当会議で共有するとともに、担任・パディーター・ティーチャー・就職担当の三位一体のサポートを徹底し、原因や不安事項の情報を面談により速やかにキャッチしフォローに努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	エアライン科 グランドスタッフコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1, 392 単位時間 / 単位	1, 410 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	60 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	210 単位時間 / 単位
			1, 680 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
エアライン科の総定員 160 人		49 人	4 人	5 人	0 人	5 人	

※教員数は、エアライン科（キャビンアテンダントコース、グランドスタッフコース、エアポートオペレーションコース）の合計数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準

(概要) 様式 2 号の 3 【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
(概要) 一人の学生に対し、クラス担任、就職担当スタッフ、バディティーチャーの 3 人がサポートするトリプル支援システムを導入し、多面的なサポートを行っている。定期的な個人面談、国家資格キャリアコンサルタントを保有する教員による進路指導、また独自の留学プログラムを設定するなど、幅広い観点から学生を指導し、学習・就職を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16 人 (100%)	0 人 (0%)	15 人 (94%)	1 人 (6%)
(主な就職、業界等) ANA エアポートサービス(株)、(株)JAL スカイ、ANA 成田エアポートサービス(株)、ANA 沖縄空港(株)、ジャパン・エアポート・グランドハンドリング(株)等			
(就職指導内容) 就職対策授業、エントリーシート添削、校内企業説明会の実施、面接練習、企業実習			
(主な学修成果（資格・検定等）) サービス介助士、TOEIC L&R、みんなの外国語検定、手話技能検定 4 級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40 人	1 人	3%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による個人面談を年 2～3 回実施。また、2 週間ごとに全学生の出席率の状況を社内に開示し、出席率の悪い学生を担任会議で共有するとともに、担任・バディティーチャー・就職担当の三位一体のサポートを徹底し、原因や不安事項の情報を面談により速やかにキャッチしフォローに努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	エアライン科 エアポートオペレーション コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1, 368 単位時間 / 単位	1, 320 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	180 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	150 単位時間 / 単位
			1, 650 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
エアライン科の総定員 160 人		20 人	1 人	5 人	0 人	5 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式 2 号の 3 【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式 2 号の 3 【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式 2 号の 3 【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照	
学修支援等	
（概要） 一人の学生に対し、クラス担任、就職担当スタッフ、バディティーチャーの 3 人がサポートするトリプル支援システムを導入し、多面的なサポートを行っている。定期的な個人面談、国家資格キャリアコンサルタントを保有する教員による進路指導、また独自の留学プログラムを設定するなど、幅広い観点から学生を指導し、学習・就職を支援している。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14 人 (100%)	0 人 (0%)	14 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） (株)JAL グランドサービス、ANA エアポートサービス(株)、ANA 中部空港(株)等			
（就職指導内容） 就職対策授業、エントリーシート添削、校内企業説明会の実施、面接練習、企業実習			

(主な学修成果(資格・検定等)) 国際航空貨物取扱士(基礎)、サービス介助士、みんなの外国語検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による個人面談を年 2～3 回実施。また、2 週間ごとに全学生の出席率の状況を社内に開示し、出席率の悪い学生を担当会議で共有するとともに、担任・パディティーチャー・就職担当の三位一体のサポートを徹底し、原因や不安事項の情報を面談により速やかにキャッチしフォローに努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	鉄道科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1, 248 単位時間 単位	1, 080 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	180 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	240 単位時間 / 単位
			1, 500 単位時間 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		81 人	0 人	3 人	0 人	3 人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式 2 号の 3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式 2 号の 3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式 2 号の 3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照

学修支援等
(概要) 一人の学生に対し、クラス担任、就職担当スタッフ、バディーティーチャーの3人がサポートするトリプル支援システムを導入し、多面的なサポートを行っている。定期的な個人面談、国家資格キャリアコンサルタントを保有する教員による進路指導、また独自の留学プログラムを設定するなど、幅広い観点から学生を指導し、学習・就職を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
48 人 (100%)	0 人 (0%)	46 人 (96%)	2 人 (4%)
(主な就職、業界等) 東武ステーションサービス(株)、西日本鉄道(株)、京王電鉄(株)、東京地下鉄(株)、小田急電鉄(株)、関東鉄道(株)、東急鉄道(株)、京成電鉄(株)、名古屋鉄道(株)、伊豆急行(株)、(株)JR 東日本ステーションサービス、東葉高速鉄道(株)等			
(就職指導内容) 就職対策授業、エントリーシート添削、校内企業説明会の実施、面接練習、企業実習			
(主な学修成果（資格・検定等）) みんなの外国語検定ブロンズ、サービス介助士、普通救命講習、手話技能検定4級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
87 人	1 人	1%
(中途退学の主な理由) 対人関係		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による個人面談を年2～3回実施。また、2週間ごとに全学生の出席率の状況を社内に開示し、出席率の悪い学生を担当会議で共有するとともに、担任・バディーティーチャー・就職担当の三位一体のサポートを徹底し、原因や不安事項の情報を面談により速やかにキャッチしフォローに努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	クルーズ科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1, 392 単位時間 / 単位	1, 200 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	180 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	300 単位時間 / 単位
			1, 680 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		11 人	1 人	1 人	0 人	1 人	

※2025年度より新設のため、1年生のみ

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式2号の3【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式2号の3【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式2号の3【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 一人の学生に対し、クラス担任、就職担当スタッフ、バディティーチャーの3人がサポートするトリプル支援システムを導入し、多面的なサポートを行っている。定期的な個人面談、国家資格キャリアコンサルタントを保有する教員による進路指導、また独自の留学プログラムを設定するなど、幅広い観点から学生を指導し、学習・就職を支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			

(主な学修成果（資格・検定等）)
(備考) (任意記載事項)

※2025 年度から新設のため、就職実績なし。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

※2025 年度から新設のため、2024 年度中途退学なし。

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
旅行科	0 円	1, 296, 000 円	302, 000 円	2 年生のみ在籍
ホテル科	0 円	1, 296, 000 円	302, 000 円	
テーマパーク科	0 円	1, 296, 000 円	302, 000 円	
総合英語科	0 円	1, 296, 000 円	302, 000 円	2 年生のみ在籍
エアライン科 キャビンアテンダントコース	0 円	1, 296, 000 円	302, 000 円	
エアライン科 グランドスタッフコース	0 円	1, 296, 000 円	302, 000 円	
エアライン科 エアポートオペレーションコース	0 円	1, 296, 000 円	302, 000 円	
鉄道科	0 円	1, 296, 000 円	302, 000 円	
クルーズ科	円	1, 296, 000 円	302, 000 円	1 年生のみ在籍
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HP の情報公開にて公表資料として公開。(昨年度評価) (掲載: https://trajal.jp/)
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)

本校の専門分野に関する企業、団体との連携体制を確保し、学校が主体的に運営する委員会として教育課程編成委員会を位置づけている。学校長直轄の委員会において、教務部が提案する教育課程編成案について審議を行い、業界や企業の知見をもってアドバイスや指摘、修正、追認を行っている。授業科目新規開設、授業内容や教育手法の改善、学修成果目標や評価方法の検討など教育の質、教職員の質向上を図ることを目的としている。

学校関係者評価の委員

[illegible]

関連企業 役員	令和7年2月1日～ 令和8年1月31日	企業
関連企業	令和7年2月1日～ 令和8年1月31日	企業
関連企業	令和7年2月1日～ 令和8年1月31日	企業
関連企業	令和7年2月1日～ 令和8年1月31日	企業
関連企業	令和7年2月1日～ 令和8年1月31日	企業
関連企業 役員	令和7年2月1日～ 令和8年1月31日	企業
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HP の情報公開にて公表資料として公開。(昨年度評価) (掲載： https://trajal.jp/)		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校情報は以下 HP にて公開。 https://trajal.jp/
--